

## 特許協力条約

PCT

## 国際予備審查報告

(法第12条、法施行規則第56条) [PCT36条及びPCT規則70]

REC'D	25	MAR 2004
WIPO		PCT

順人又は代理人 今後の手続きについては、国際予備審査報告の送付通知(様式PCT/ ・ 書類記号 15-007-1560 IPEA/416)を参照すること。			
国際出願番号 PCT/JP03/08185	国際出願日 (日.月.年) 27.06.2003	優先日 (日.月.年) 27.06.2002	
国際特許分類 (IPC) Int.	C1' C08F 4/54, C08	3F 36/04	
出願人 (氏名又は名称) ・ 理化学研	<b>开究所</b>		
2. この国際予備審査報告は、この表記 この国際予備審査報告には、	む明細書、請求の範囲及び/又は図面もネ 「実施細則第607号参照)	ージからなる。 の基礎とされた及び/又はこの国際予備審	
この財威書類は、全部で       ページである。         I       図際予備審査報告は、次の内容を含む。         I       図 国際予備審査報告の基礎         II       新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成         IV       発明の単一性の欠如         V       P C T 3 5 条 (2) に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明         VI       ある種の引用文献         VI       国際出願の不備         III       国際出願に対する意見			
国際予備審査の額収率を受理した日	国際予備審査報告	rfを作成した日	

国際予備審査の請求書を受理した日 25.11.2003	国際予備審査報告を作成した日 12.03.200	4
名称及びあて先	特許庁審査官(権限のある職員)	4 J 2940
日本国特許庁 (IPEA/JP) 郵便番号100-8915	中川 淳子	
東京都千代田区領が関三丁目4番3号	電話番号 03-3581-1101 片	線 3455



国際出願番号 PCT/JP03/08185

Ι.		国際予備審査報	せん と と と と と の 基礎		
1.	Ţ,	この国際予備報 な答するために P C T 規則70.	提出された差し替	願書類に基づいて作成さ え用紙は、この報告書に	れた。(法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に おいて「出願時」とし、本報告書には添付しない。
	×	出願時の国際	出願書類		
		明細魯 明細魯 明細魯	第 第 第	ページ、 ページ、 ページ、 ページ、	出願時に提出されたもの 国際予備審査の請求暋と共に提出されたもの 付の書簡と共に提出されたもの
		請求の範囲 請求の範囲 請求の範囲 請求の範囲	第 第 第 第 第	項、 項、 項、 	出願時に提出されたもの PCT19条の規定に基づき補正されたもの 国際予備審査の請求書と共に提出されたもの 付の書簡と共に提出されたもの
		図面 図面 図面	第 第 第	ページ/図、 ページ/図、 ページ/図、	出願時に提出されたもの 国際予備審査の請求書と共に提出されたもの 付の書簡と共に提出されたもの
		明細書の配列	刊表の部分 第 列表の部分 第 列表の部分 第	ページ、 ページ、 ページ、 ページ、	出願時に提出されたもの 国際予備審査の請求書と共に提出されたもの 付の書簡と共に提出されたもの
2	•	上記の出願書類	質の言語は、下記に	<b>二示す場合を除くほか、こ</b>	の国際出願の言語である。
		上記の書類は、	下記の言語である	5 語であ	る。
		☐ PCT規	則48.3(b) にいう国		・う翻訳文の言語 たは55.3にいう翻訳文の言語
3	•	この国際出願	は、ヌクレオチドス	スはアミノ酸配列を含んで	おり、次の配列表に基づき国際予備審査報告を行った。
		□ この国際 □ 出願後に □ 出願後に □ 出願後に □ 出願後に □ 出願後に むの提出	こ、この国際予備審 こ、この国際予備審 - 提出した書面によ - があった こる配列表に記載し	れた磁気ディスクによる 査(または調査)機関に 査(または調査)機関に る配列表が出願時におけ	配列表 提出された書面による配列表 提出された磁気ディスクによる配列表 る国際出顧の開示の範囲を超える事項を含まない旨の陳述 よる配列表に記録した配列が同一である旨の陳述書の提出
4		明細書	下記の書類が削除。 第 第 図面の第	ページ 項	· -ジ/図
5	i. [	れるので、	その補正がされなれ	充欄に示したように、補1 かったものとして作成した 遠しなければならず、本幸	Eが出願時における開示の範囲を越えてされたものと認めら と。(PCT規則70.2(c) この補正を含む差し替え用紙は上 限告に添付する。)

## 国際予備審査報告

国際出願番号 PCT/JP03/08185

IV. 発	明の単一性の欠如
1. 請	求の範囲の減縮又は追加手数料の納付の求めに対して、出題人は、
	請求の範囲を減縮した。
	追加手数料を納付した。
	追加手数料の納付と共に異議を申立てた。
	請求の範囲の減縮も、追加手数料の納付もしなかった。
2 🗵	国際予備審査機関は、次の理由により発明の単一性の要件を満たしていないと判断したが、PCT規則68.1の規定に従い、請求の範囲の減縮及び追加手数料の納付を出願人に求めないこととした。
3. 国	国際予備審査機関は、PCT規則13.1、13.2及び13.3に規定する発明の単一性を次のように判断する。
	満足する。
$\times$	以下の理由により満足しない。
	請求の範囲1-10に共通の事項は、特定の触媒組成物であるが、請求項 11は特定の物性を持つ重合体であって、上記共通事項を有さない。 よって、発明の単一性の要件を満たしていない。
	$\cdot$
4.	したがって、この国際予備審査報告售を作成するに際して、国際出願の次の部分を、国際予備審査の対象にした。
×	すべての部分
	<b> </b>



## 国際予備審查報告

国際出願番号 PCT/JP03/08185

v.	新規性、進歩性又は産業上の利用可能 文献及び説明	性についての法第12条(PCT:	3 5条(2)) に定める見解、そ 	れを裏付ける 
1.	見解			
	新規性(N)	請求の範囲	1-11	有 無
	進歩性 (IS)	請求の範囲 請求の範囲	1-11	有 無
	産業上の利用可能性(IA)	請求の範囲	1-11	有 無

2. 文献及び説明 (PCT規則70.7)

文献1:EP 1086957 A (Riken) 2001. 03. 28

請求の範囲1-11 請求の範囲1-11に記載された発明は、国際調査報告で引用された文献1から新規性および進歩性を有さない。 文献1のc1 a i m s、 $\begin{bmatrix}0$ 0 1 8  $\end{bmatrix}$ 、 $\begin{bmatrix}0$ 0 2 6  $\end{bmatrix}$   $-\begin{bmatrix}0$ 0 2 7  $\end{bmatrix}$ 、 $\begin{bmatrix}0$ 0 3 0  $\end{bmatrix}$ 、 $\begin{bmatrix}0$ 0 3 3  $\end{bmatrix}$   $-\begin{bmatrix}0$ 0 3 4  $\end{bmatrix}$ 、 $\begin{bmatrix}0$ 0 3 8  $\end{bmatrix}$   $-\begin{bmatrix}0$ 0 3 9  $\end{bmatrix}$  には、本願特定の触媒組成物、該触媒組成物を用いた共役ジエンの製造方法、および該製造により得られた重合体が記載されている。



国際予備審査報告		国際出願番号 PC	T/JP03/08185
Л. ある種の引用文献			
1. ある種の公表された文書(PCT#	見則70. 10)		
出願番号 特許番号	公知日 (日.月.年)	出願日 (日.月.年)	優先日(有効な優先権の主張 (日.月.年)
JP 2002-187908 A	05. 07. 02	19. 12. 00	
			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
			·
			•
2. 書面による開示以外の開示(PC	T規則70.9)		
	書面による開示以外の関	ラッコム 事志に	よる開示以外の開示に言及してい